

国際交流 2018

平成30年国際交流報告書



International Exchange
MAIZURU 2018

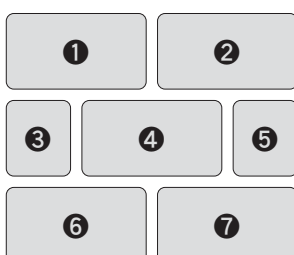
舞鶴市

目 次

姉妹都市・ナホトカ市の概要	P 1
友好都市・大連市の概要	P 2
姉妹都市・ポーツマス市の概要	P 3
その他の交流がある国・都市	P 4
京都舞鶴港と対岸諸国とを結ぶ国際航路図	P 5
姉妹都市・ナホトカ市との交流	P 6
友好都市・大連市との交流	P 7
姉妹都市・ポーツマス市との交流	P 10
その他の姉妹・友好都市交流・その他の都市との友好交流	P 13
京都舞鶴港関係の貿易・経済交流	P 17
京都舞鶴港へのクルーズ客船誘致事業	P 20
インバウンド誘客事業	P 22
市民主体の国際交流	P 24
舞鶴市国際交流員としての1年間	
2017年度舞鶴市国際交流員 李 芳	P 26
外務省への出向	
舞鶴市みなと振興・国際交流課 坪内 善紀	P 29
インターネットのホームページ紹介	P 32

※記載の氏名については敬称を省略させていただき、職名や組織名等は当時のものとさせていただきます。

表紙写真説明



- ①多々見市長とリー・メイソン ポーツマス市名誉市長
- ②大連発着クルーズ客船「チャイニーズ・タイシャン」と大連市中日友好交流協会交流団
- ③舞鶴市・ポーツマス市姉妹都市提携20周年記念特別企画「知ればおもしろいポーツマス展」
- ④ポーツマス市青少年訪問団が東舞鶴高校を訪問
- ⑤開校した日本語教室
- ⑥舞鶴市青少年ソフトボール訪問団がナホトカ市を訪問
- ⑦ICOM 舞鶴ミーティング2018



姉妹都市

ナホトカ市 (ロシア連邦)

Nakhodka



姉妹都市提携年月日

1961 (昭和36) 年6月21日



ナホトカ市の概要

ナホトカ市はロシア連邦沿海地方の南東部位置し、面積約325.9Km²、人口約14万9千人(2018年1月現在)を有する都市です。19世紀半ば過ぎにロシアの軍艦「アメリカ号」が偶然発見したのが都市の起源であり、「ナホトカ」には、ロシア語で「見つけもの」の意味があります。日本との時差は+1時間。

産業：舞鶴と同じ天然の良港を有する国際港湾都市で、主な産業は、海上輸送、漁業、石油製品卸、建設業、商業です。また、シベリア鉄道の東端に位置しているため、遠くロシア西部やヨーロッパをも後背地とする重要な物流港です。

気候：モンスーン型気候で1月の平均気温は-13℃、8月の平均気温は18℃、年間平均降水量は740mm。

その他の姉妹都市：敦賀市・小樽市(日本)、吉林市(中国)、東海市(韓国)、オークランド市・ベリンガム市(アメリカ)、プーケット州(タイ)



ナホトカ市庁舎



ナホトカ市との交流

1956年日ソ共同宣言の調印により、舞鶴市では引揚者の乗船港としても縁の深いナホトカ市と貿易で友好を深め、日ソ両国の友好強化に寄与しようという機運が高まり、1956年に舞鶴市議会において、ナホトカ市に対する友好決議が行われました。1961年6月、ドウボフカ・ナホトカ市長を舞鶴市に迎え、日本とソビエト連邦(当時)との間で初めてとなる姉妹都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では「日本海を平和と友情の海に」を合言葉に、スポーツ交流団の相互派遣、少年使節団の交換、通信体育競技会の実施など活発な交流が展開され、2016年には、姉妹都市提携55周年を迎えました。



舞鶴市・ナホトカ市友好の碑



ナホトカ商業港



カザンスキー教会



友好都市 大連市 (中国) Dalian

友好都市提携年月日

1982 (昭和57) 年5月8日

大連市の概要

大連市は中国東北部遼東半島最南端に位置し(緯度は日本の山形県酒田市とほぼ同じ)、東は黄海、西は渤海、南に海を隔てて山東半島を望む港湾工業都市です。人口594万9千人(2017年現在)、面積約12,574Km²。1899年にロシア人が大連港の建設を開始したのが都市としての始まりです。日本との時差は-1時間。

産業：古くから造船・石油化学など重工業の拠点でしたが、改革開放後、東北地方においていち早く市場経済化に取り組みました。90年代からは日系を中心とする外資系製造業の誘致に成功し、近年は海外IT企業の進出も目覚ましく、環境技術の導入にも力を入れています。一方、観光産業における発展も目覚ましく、「アカシア祭り」「国際砂浜文化祭り」「国際マラソン大会」など季節ごとにイベントが開催され、多くの外国人観光客で賑わっています。

気候：暖温帯大陸性モンスーン気候で、四季がはっきりしています。年間平均気温は10.5℃、年間降水量は550～950ミリ。

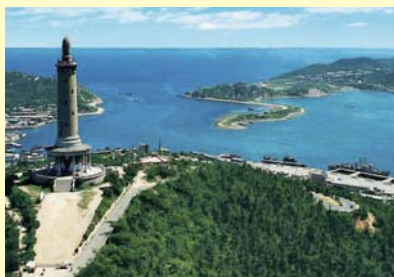
その他の姉妹都市：北九州市(日本)、ブレーメン市・ロストック市(ドイツ)、グラスゴー市(イギリス)、ル・アーヴル市(フランス)、オークランド市(アメリカ)、ウラジオストク市(ロシア)、ポワントノワール市(コンゴ共和国)



大連市人民政府庁舎

大連市との交流

舞鶴市では、地理的な条件や引き揚げ等の歴史的な経過から、大連市(当時旅大市)との友好交流を望む市民の声が強くありました。1978年の日中平和友好条約の締結により、舞鶴市としても友好都市提携実現に向け、関係機関への働きかけや経済・貿易関係の交流を積極的に展開した結果、1982年5月、舞鶴市において崔栄漢・大連市長(当時)を迎え、友好都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では各種訪問団の相互派遣、少年使節団の交換、友好の船の派遣など活発な交流が展開され、2017年には、友好都市提携35周年を迎えました。



白玉山からの旅順港の眺め



中山広場



大連の海鮮料理



姉妹都市 ポーツマス市 (英国) Portsmouth

姉妹都市提携年月日

1998 (平成10) 年5月15日・27日

ポーツマス市の概要

ポーツマス市は英国南部のイギリス海峡に面した港湾観光都市です。人口約23万8千人(2011年現在)、面積約40K㎡。ロンドンの南西部110kmに位置し、1927年に市制を施行しましたが、ポーツマス市の起源は1194年にリチャード1世の憲章にはじまり、800年余の古い歴史を持ちます。日本との時差は-9時間。



ポーツマス・ギルドホール

産業：英国海軍の主要基地として発展してきた町で、現在、海軍基地はポーツマス・ヒストリック・ドックヤードと呼ばれる観光施設として利用され、当時の軍艦等が保存されています。多くの博物館や観光施設を有する、英国のみならずヨーロッパでも有数のリゾート地として知られています。近年では、港湾地区の再開発が進められており、複合レジャー施設「ガンワフ・キー」が注目を集めています。

気候：北部を丘陵地帯に守られ、イギリス海峡の湾流の影響もあり、温暖な気候に恵まれています。平均気温は夏で18～25℃、冬で5～12℃ほどです。

その他の姉妹都市：カーン市(フランス)、デュースブルク市(ドイツ)、ハイファ市(イスラエル)、レイクウッド市、ポーツマス2市(アメリカ・ニューハンプシャー州、バージニア州)、シドニー市(オーストラリア)、ジャライド旗・珠海市(中国)

ポーツマス市との交流

舞鶴市とポーツマス市は、1993年赤れんが博物館の開館時にポーツマス市かられんがが贈られたことをきっかけに交流が始まりました。その後、小中学校の手紙の交換やボーイスカウトの交流など市民レベルでの交流が進み、1998年5月に舞鶴市・ポーツマス市の市長が両市を相互訪問し、姉妹都市提携が実現しました。2018年には、姉妹都市提携20周年を迎えました。



スピナータワー



ビクトリー号



ガンワフ キーズ

その他の交流がある国・都市



浦項市 (大韓民国)
Pohang



浦項市の概要

浦項市は、韓国・慶尚北道の東海岸に位置する、人口約51万6千人(2019年1月現在)、市の面積約1,129Km²の国際港湾都市



韓国で一番最初に日が昇る地として有名な「ホミゴッ」

です。古くから水産業で栄えたまちでしたが、1970年代初頭に「浦項製鉄所 (POSCO)」が誕生して以来、韓国有数の工業都市として発展してきました。浦項港では、鉄鋼関係の輸出入が大半を占めます。2014年にKTX(韓国版新幹線)が開通し、首都ソウルから約2時間半でアクセスできるようになりました。



浦項市との交流

京都舞鶴港は2011年11月に、国から3つの機能(国際海上コンテナ、国際フェリー・RORO船、外航クルーズ)で「日本海側拠点港」の選定を受けました。この2つの機能の内、「国際フェリー・RORO船」については、2025年までに韓国との国際フェリー航路開設を目指す計画であることから、2012年に浦項市と「経済交流などの推進に関する協定書」を締結し、現在、舞鶴市では浦項市と中学生の相互訪問などの交流を進めています。



ウズベキスタン共和国
(首都：タシケント市)
Republic of Uzbekistan



ウズベキスタン共和国の概要

ウズベキスタンは日本からおよそ6,400km離れた中央アジアに位置しており、面積は日本のおよそ1.2倍、人口は約3,000



第二次世界大戦後ソ連で抑留された日本人が建設した「ナヴォイ劇場」

万人、1991年にソビエト連邦(以降、ソ連)崩壊に伴い独立した国で、世界に2つしかない「二重内陸国」で、海へと出るためには国を2つ越える必要があります。

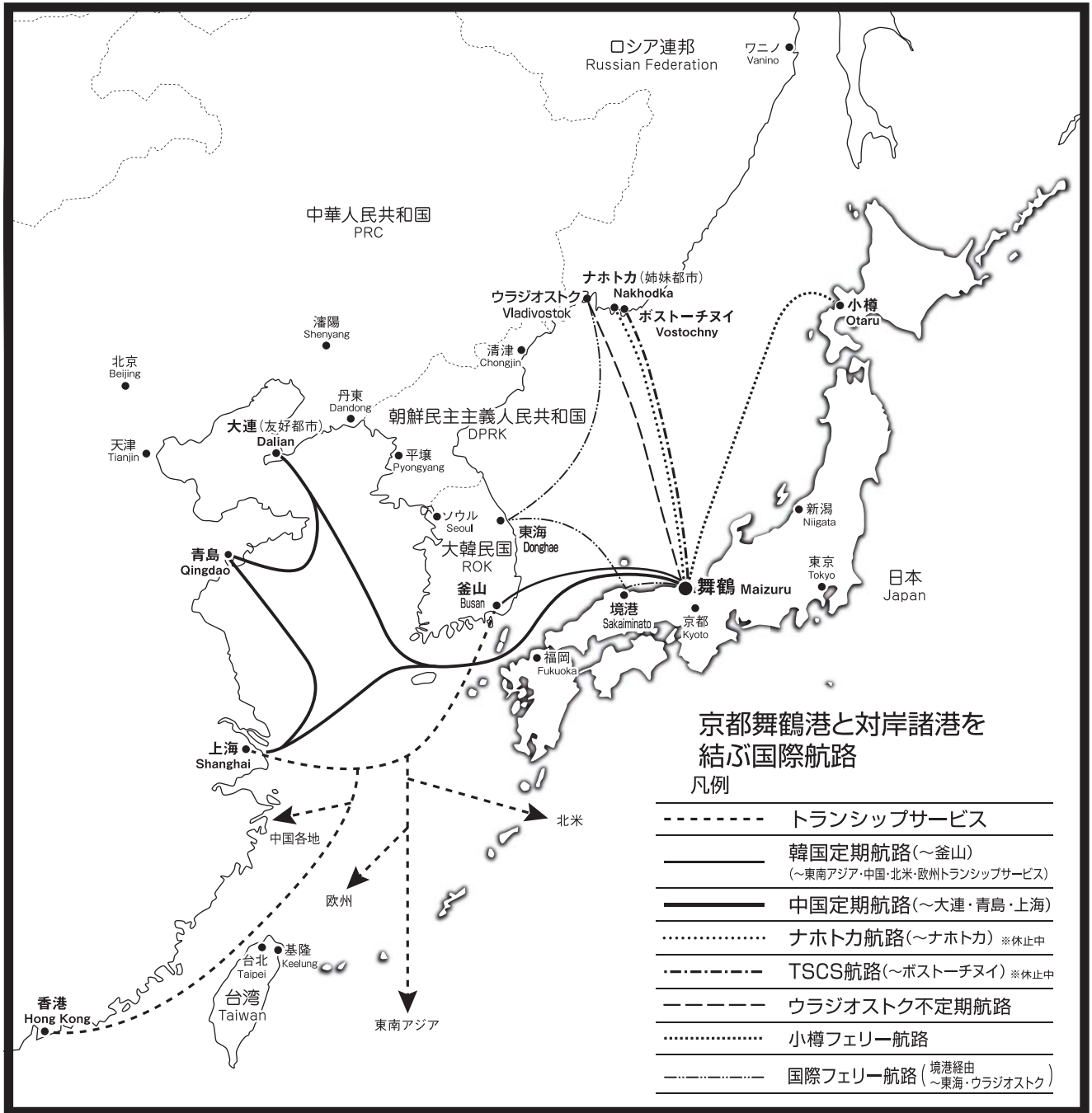


ウズベキスタン共和国との交流

2016年1月、首都タシケント市内の日本人抑留者資料館のジャリル・スルタノフ館長が舞鶴市を訪問したことがきっかけでウズベキスタンとの交流が始まりました。現在舞鶴市は、2020年東京五輪におけるウズベキスタンのホストタウンに登録され、同国レスリング協会、柔道連盟、オリンピック委員会、体育スポーツ省との事前合宿に係る覚書が交わされました。東京五輪選手団の直前合宿誘致を契機にウズベキスタンと文化・スポーツ・経済など様々な面で交流を進め、大会終了後も「オリンピックレガシー」として残るつながりを作りたいと考えています。



京都舞鶴港と対岸諸国を結ぶ国際航路図



姉妹都市・ナホトカ市との交流

5月10日(木)～11日(金) 第55回 舞鶴・ナホトカ陸上競技通信 競技会が開催

1964年から続いている「舞鶴・ナホトカ陸上競技通信競技会」が開催。この大会は、舞鶴市とナホトカ市の陸上競技において、毎年、各種目の記録を交換しているもので、今年度の交換記録は、男子11種目、女子9種目でした。舞鶴市は、男子では100m、走り幅跳びなど4種目、女子では100m、走り幅跳びなど5種目で優秀な成績を収め、一方、ナホトカ市は、男子では200m、やり投げなど7種目、女子では200m、3000mなど4種目で優秀な成績を収めました。

8月16日(木)～21日(火) 舞鶴市青少年ソフトボール訪問団が ナホトカ市を訪問

「ロシアにおける日本年」、「日本におけるロシア年」の今年、舞鶴市・ナホトカ市姉妹都市交流事業の一環として、舞鶴市の中高中生で構成されるソフトボール訪問団21名がナホトカ市を訪問。ナホトカ市の青少年で構成されるソフトボールチームとの親善試合やロシア文化の体験、市民との交流活動に参加し、本市青少年の国際理解と両市の更なる交流の促進を図りました。

《訪問者(21名)》

加佐中学校校長	山口 茂
西舞鶴高等学校教諭	奥藤 晋平
白糸中学校教諭	堀 大輔

城北中学校養護教諭

舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

西舞鶴高等学校

白糸中学校

白糸中学校

城南中学校

城南中学校

城北中学校

和田中学校

《日程》

8月16日(木) 舞鶴発、ナホトカ着

8月17日(金) ソフトボール親善試合、ナホトカ市役所訪問

8月18日(土) ソフトボール親善試合、市内視察、ホームステイ

8月19日(日) ウラジオストク視察

8月20日(月) 青少年交流、市内視察

8月21日(火) ナホトカ発、舞鶴着

澤谷あさひ

渡瀬 弘樹

土屋 瑞稀

水島沙和子

須貝 美友

布川まりあ

矢野 志音

濱田 妃菜

高原ななみ

吉岡明日香

大江 楓

橋本 唯夏

松浦 千夏

中西 望

伊藤 千尋

南 朋花

四方 寿莉

鈴木 彩希



▲ナホトカチームと記念撮影



▲書道体験で交流

友好都市・大連市との交流

3月6日(火)～8日(木) 京都ビジネスセミナーin大連に参加

大連市・シャングリラホテルで開催された京都府上海ビジネスサポートセンター主催の京都ビジネスセミナーに参加。約300名の参加企業関係者に対し京都舞鶴港のPRを行いました。

《訪問者(4名)》

(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	澤田 信幸
(一社)京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹
(一社)京都舞鶴港振興会主任	板橋 祐介
舞鶴市国際交流員	李 芳

《日程》

3月6日(火) 舞鶴発、大連着、中国国際貿易促進委員会大連市分会訪問

3月7日(水) 企業訪問、京都ビジネスセミナーin大連参加

3月8日(木) JETRO 大連事務所訪問、大連発、舞鶴着



▲京都舞鶴港をPR

3月30日(金) 2017年度舞鶴市国際交流員(CIR) 李芳さんが離任

2017年4月から、舞鶴市国際交流員として大連市との友好交流や京都舞鶴港振興事業、舞鶴市民との交流事業



▲市長から辞令交付を受けた李芳さん

等を担当してきた李芳(りほう)国際交流員が、1年間の勤務を終え離任。辞令交付および市長への離任挨拶を行いました。

4月12日(木) 2018年度舞鶴市国際交流員(CIR) 朴蓮姫さんが着任

舞鶴市民に対する中国文化の理解の促進、友好都市・大連市との文化・経済交流などの橋渡し役として、14代目(13人目)の国際交流員となる吉林省出身の朴蓮姫(ぼくれんき)さんが着任。舞鶴市長職務代理者 堤副市長への着任挨拶を行い、抱負を述べました。



▲堤副市長から辞令交付を受ける朴蓮姫さん

4月16日(月)～17日(火) チャイニーズ・タイシャン(中華泰山) 受入協議のため京都舞鶴港関係者を派遣

大連発着クルーズ客船「チャイニーズ・タイシャン」の京都舞鶴港寄港に向け、京都舞鶴港関係者が大連を訪問し、関係者と受入対応についての協議を行いました。

《訪問者(2名)》

舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小島 宏
(一社)京都舞鶴港振興会主任	板橋 祐介

《日程》

4月16日(月) 舞鶴発、大連着、大連市中日友好協会と協議、大連市旅游発展委員会と協議

4月17日(火) 大連発、舞鶴着

5月14日(月) 大連発着クルーズ客船「チャイニーズ・タイシャン」寄港／大連市民クルーズ訪問団が来訪

大連発着クルーズ客船「チャイニーズ・タイシャン」が初めて京都舞鶴港に入港し、念願であった友好都市ク

ルーズが実現しました。944名の乗客のうち、456名の大連市中日友好交流協会交流団（団長：于建軍）は市民友好交流会に参加。大連のソプラノ歌手と合唱団による歌、舞踏家によるモンゴルダンス、舞鶴よさこい連による踊りと銭太鼓などがそれぞれ披露され、市民交流を楽しみました。



▲チャイニーズ・タイشانと大連市中日友好交流協会交流団

- 5月26日(土) 「中日観光大連ハイレベルフォーラム」参加、市長円卓会議出席
- 5月27日(日) クルーズ懇談会出席、市内視察
- 5月28日(月) 大連市長との会見、日系企業訪問
- 5月29日(火) 大連港集团有限公司訪問、日系企業訪問、大連発、舞鶴着



▲クルーズ懇談会で京都舞鶴港をPR



▲市民友好交流会の様子

5月25日(金)～29日(火) 舞鶴市代表団が「中日観光大連ハイレベルフォーラム」に参加

第29回大連アカシア祭りの一環として開催される「中日観光大連ハイレベルフォーラム」に参加するため、舞鶴市代表団4名が大連市を訪問。

山口副市長が、市長円卓会議およびクルーズ懇談会に出席。舞鶴市・京都舞鶴港のPRを行い、「チャイニーズ・タイشان」についての事例発表を行いました。

また、譚成旭市長と会見し、クルーズ客船の継続ほか、舞鶴市と大連市との多分野でのさらなる協力について意見交換を行いました。

《訪問者（4名）》

舞鶴市副市長	山口 寛士
舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	渡瀬 弘樹
舞鶴市国際交流員	朴 蓮 姫

《日 程》

5月25日(金) 舞鶴発、大連着、市内視察

8月1日(水)～5日(日) 大連市少年使節団が来訪

大連市との青少年交流は、1992年以来隔年で受入と派遣を交互に実施しており、昨年は舞鶴市少年使節団24名を大連市に派遣しました。

両市の相互理解と国際的な視野を持った青少年の育成を図るため、今回、大連市から桃源小学校児童18名・随員5名から成る大連市少年使節団を受入れ、与保呂小学校との学校交流及びホームステイを通じて相互理解を深めました。

《来訪者（23名）》

大連市中山区教育局副局长	李 軍
大連市中山区教育局副主任	黄 学 鋒
大連市第三十五中学校教師	呂 爽
大連市中山区桃源小学校教師	陳 紅
大連市中山区桃源小学校教師	王 藝

楊 鈞 茹	劉 一 霖	董 默 儒
趙 天 鑠	王 崔 錦	陳 睿 哲
魏 詩 燃	梁 丞 佑	宗 俞 辰
張 雅 婷	周 思 奇	陳 子 日
尹 祥 印	朱 恩 瑶	郭 懿 萱
史 軒 宇	于 金 汐	馬 思 遙

《日 程》

- 8月1日(水) 大連発、舞鶴着
- 8月2日(木) 与保呂小学校と交流、リサイクルプラザ見学、企業訪問、市内視察
- 8月3日(金) 舞鶴市長表敬訪問、天橋立見学、かまぼこ作り体験、市内視察、ホームステイ
- 8月4日(土) ホームステイ先との交流
- 8月5日(日) 舞鶴発、大連着



▲中国の篠笛を披露

9月10日(月)～11日(火) 大連市人民代表大会常務委員会代表団が 来訪

大連市人民代表大会常務委員会の代表団が来訪し、本会議の視察や市議会との交流を行い、両市の更なる関係強化を図りました。

《来訪者(6名)》

大連市人民代表大会常務委員会秘書長	姜 建 国
大連市人民代表大会人事選挙委員会主任委員	張 淑 華
大連市人民代表大会財経委員会主任委員	包 広 平
大連市人民代表大会常務委員会人事代表工作委员会副主任	闫 德 龍
大連市人民代表大会常務委員会研究室総合調研処処長	高 中 義
大連市外事弁公室アジア処主任科員	景 詩 博

《日 程》

9月10日(月) 舞鶴着、本会議傍聴
9月11日(火) 舞鶴市議会議長表敬訪問、舞鶴市長表敬訪問、市内視察、舞鶴発



▲多々見市長と代表団

9月19日(水)～24日(月) 大連日本商品展覧会に出展

京都舞鶴港における中国定期航路の活性化と利用企業の輸出拡大支援等を目的に、大連市・世界博覧広場で開催された「2018 大連日本商品展覧会」に出展し、京都舞鶴港と地元産品のPRを行いました。

《訪問者(4名)》

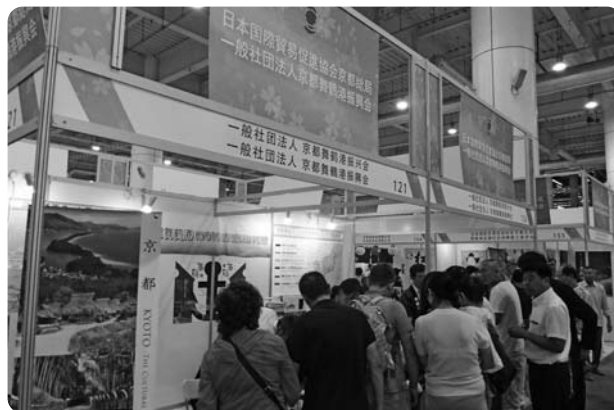
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	西山 裕樹
(一社)京都舞鶴港振興会常務理事	新宮 敦雄

(一社)京都舞鶴港振興会主任
舞鶴市国際交流員

板橋 祐介
朴 蓮 姫

《日 程》

9月19日(水) 舞鶴発、大連着
9月20日(木) ブース準備、打合せ、出展企業との交流会
9月21日(金) ブース対応、企業訪問
9月22日(土) ブース対応、中日貿易投資協力報告会参加
9月23日(日) ブース対応
9月24日(月) 大連発、舞鶴着



▲大連日本商品展覧会に京都舞鶴港PRブースを出展

9月25日(火) 大連市人民政府代表団が来訪

大連市人民政府秘書長を団長とする代表団が来訪。経済交流に関する実務的協議及び市内視察を行い、新たな経済交流の可能性について意見交換を行いました。

《来訪者(7名)》

大連市人民政府秘書長	衣 慶 焘
大連市規画局局长	劉 東 立
大連市商務局副局長	寧 松 岩
大連市教育局副局長	楊 躍 権
大連市衛生と計画生育委員会副主任	黄 斌
大連港集团董事长	張 乙 明
大連市商務局主任科員	宗 薇

《日 程》

9月25日(火) 舞鶴着、舞鶴市長表敬訪問、実務者協議、舞鶴港視察、舞鶴発



▲代表団の市長表敬の様子

姉妹都市・ポーツマス市との交流

3月17日(土)～26日(月) 平成29年度ポーツマス市訪問青少年 英語研修を実施

市内在住の中学生と高校生の8名が、ポーツマス市でホームステイをしながら英語を学ぶ研修に参加。参加者は語学学校での英語研修のほか、ポーツマス市名誉市長への表敬訪問や現地学校の生徒と交流し、若い世代における姉妹都市間の友好交流を深めました。

《訪問者(8名)》(名簿順)

城南中学校2年	渡邊 心愛
城南中学校3年	杉谷 佑芽
白糸中学校3年	山本 怜生
青葉中学校3年	浅沼 陽乃
西舞鶴高校2年	斉藤 朱音
西舞鶴高校1年	橋本 愛奈
西舞鶴高校1年	深川 七海
東舞鶴高校1年	福田 もえ

《日程》

- 3月17日(土) 舞鶴発、ポーツマス着
- 3月18日(日) ホストファミリーとの対面、ホームステイ
- 3月19日(月)～23日(金) Portsmouth Language Collageでの英語研修、ホームステイ
- 3月20日(火) メイフィールド校との学校交流
- 3月21日(水) メイフィールド校との学校交流
- 3月22日(木) ポーツマス市名誉市長への表敬訪問、ポーツマス市内見学
- 3月24日(土) ロンドンへ移動、市内見学
- 3月25日(日) ロンドン発
- 3月26日(月) 舞鶴着



▲メイフィールド校で生徒と撮影

3月19日(月)～23日(金) 舞鶴市姉妹都市交流調整団をポーツマス市へ派遣

姉妹都市提携20周年記念事業に関し、ポーツマス市の担当職員と具体的な協議をするため、舞鶴市姉妹都市交流調整団がポーツマス市を訪問しました。

《訪問者(2名)》

舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長 竹原 良治
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係主事 久保 将太

《日程》

- 3月19日(月) 舞鶴発、ポーツマス着
- 3月20日(火) ポーツマス市関係者との打合せ、市内視察
- 3月21日(水) メイフィールド校関係者との打合せ、市内視察
- 3月22日(木) ポーツマス市名誉市長への表敬訪問、ロンドン発
- 3月23日(金) 舞鶴着

5月3日(木) ポーツマス市議会において新議長を選出

市議会議員選挙がおこなわれ、自民党代表であるジェラルド・バーノン・ジャクソン議員が市議会議長に選出されました。

5月15日(火) ポーツマス市議会において新名誉市長を選出

名誉市長選出式典が開催され、新名誉市長にリー・メイソン議員が選出されました。

※ポーツマス市名誉市長は、市議会議員から互選で選出されます。任期は1年。

6月25日(月) ポーツマス市との交流に関する市民座談会を開催

姉妹都市提携20周年という節目の年を迎え、ポーツマス市との今後の更なる交流について、ポーツマス市と関わりのあるメンバーによる座談会を開催し、意見交換を行いました。

《参加者(11名)》

舞鶴市副市長(市長職務代理) 堤 茂
舞鶴市産業振興部長 瀬川 治

旧舞鶴・ポーツマス市民の会
 旧舞鶴・ポーツマス市民の会
 NPO法人舞鶴国際交流協会(MIA)
 NPO法人舞鶴国際交流協会(MIA)
 1996ボーイスカウト訪英団
 1998肉じゃが訪英団
 JAPAN 2001 訪英団(クレインズ舞)
 2013/2016サウスシーショー参加者
 青少年英語研修(2008)参加者

小西 剛
 中村 禮子
 大村 祥介
 谷口 信子
 津田容太郎
 伊庭 節子
 高橋 淳子
 野村 鶴子
 藤澤 祥子

8月13日(月)～18日(土) 舞鶴市・ポーツマス市姉妹都市提携20周年記念 舞鶴市代表団をポーツマス市へ派遣

両市の友好関係をさらに推進していくために、舞鶴市代表団4名がポーツマス市を訪問し、意見交換を行いました。また、舞鶴市で実施する姉妹都市提携20周年記念事業に向け事前協議を行いました。

《訪問者(4名)》

舞鶴市副市長	堤 茂
舞鶴市議会議長	上野 修身
舞鶴市産業振興部長	瀬川 治
舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小島 宏

《日程》

8月13日(月) 舞鶴発
 8月14日(火) ポーツマス着、市内視察
 8月15日(水) ポーツマス市名誉市長への表敬訪問、市内視察、メイフィールド教諭との懇談
 8月16日(木) ロンドンへ移動、在英国日本大使館訪問
 8月17日(金) ロンドン発
 8月18日(土) 舞鶴着



▲名誉市長を表敬訪問

10月18日(木)～22日(月) 舞鶴市・ポーツマス市姉妹都市提携20周年記念 ポーツマス市青少年訪問団が初来訪

ポーツマス市訪問青少年英語研修プログラムにおける交流相手校のメイフィールド校からの青少年訪問団が舞鶴市に来訪しました。姉妹都市提携以来、初めての来訪となりました。

《来訪者(6名)》

メイフィールド校中等部長	ルイズ・ヒリアー
メイフィールド校語学教諭	ベン・キュリアー
メイフィールド校学生	ルビー・ヒュース
メイフィールド校学生	ジュリータ・バルータ
メイフィールド校学生	オーウェン・ラシュリー
メイフィールド校学生	アビッド・チョウドフリー

《日程》

10月18日(木) ロンドン発、舞鶴着
 10月19日(金) 市長表敬訪問、白糸中学校との学校交流、東舞鶴高等学校との学校交流
 10月20日(土) 市内視察、農業体験
 10月21日(日) 京都視察
 10月22日(月) 関空発



▲東舞鶴高校を訪問



▲東舞鶴高校で学校交流



▲料理作りを体験

10月20日(土)～28日(日) 舞鶴市・ポーツマス市姉妹都市提携20周年記念特別企画「知ればおもしろいポーツマス展」を開催

姉妹都市ポーツマスについて、舞鶴市民へのさらなる周知を図ることを目的として、赤れんがフェスタの開催に合わせて、赤れんがパーク5号棟で「知ればおもしろいポーツマス展」を開催しました。全17枚から構成されるパネルを展示し、英国の歴史、ポーツマスの歴史、ネルソン提督、東郷平八郎について紹介。16,457名の来場者が訪れました。



▲企画展の様子

10月24日(水)～28日(日) ポーツマス市名誉市長が来訪

ポーツマス市名誉市長が姉妹都市提携した1998年以来20年ぶりに来鶴。市民歓迎交流会、植樹式、名誉市長によるポーツマス市のまちづくりを紹介した講演会を開催し、友好関係の深化を図りました。

《来訪者(1名)》

第92代ポーツマス市名誉市長 リー・メイソン議員

《日 程》

- 10月24日(水) 舞鶴着、市内視察
- 10月25日(木) 市内視察、市長表敬訪問、市議会議長表敬訪問、記念植樹
- 10月26日(金) 市内視察
- 10月27日(土) 講演会、市民歓迎夕食会
- 10月28日(日) 舞鶴発、京都視察、東京へ移動



▲記念植樹



▲名誉市長による講演会



▲東郷邸を見学

その他の姉妹・友好都市交流・その他の都市との友好交流

2月～3月

ウズベキスタンの子ども達へ提供する 柔道衣107着が集まる

内閣官房ホストタウンアクション・リサイクル柔道衣支援事業として、タシケント市やヤッカサライ区の子も達に柔道衣を提供するため、市内の中学・高校及び市民に対し、不要になった柔道衣の提供を呼びかけたところ、107着の柔道衣が集まった。その後、集まった柔道衣はウズベキスタンの子ども達に届けられました。



▲集まった柔道着

2月3日(土)～4日(日)

舞鶴市立幼稚園、小中学校教育美術展覧会に舞鶴市姉妹都市・友好都市の児童絵画を展示

舞鶴市教育委員会が舞鶴市総合文化会館において第20回教育美術展覧会を開催しました。

展覧会には、市内の市立幼稚園、小中学校の作品のほか、姉妹・友好都市であるロシア・ナホトカ市、中国・大連市、英国・ポーツマス市の作品48点が展示されました。



▲ナホトカ市、大連市、ポーツマス市の作品展示の様子

2月23日(金)～26日(月)

浦項市青少年交流訪問団が来訪

浦項市が毎年実施する訪日プログラムの一環として、浦項市青少年交流訪問団28名が来訪。白糸中学校を訪問し日本文化を通じた学校交流に参加した後、舞鶴市民宅でのホームステイを行うなど、市民との交流を深めました。



▲白糸中学校を訪問

《来訪者(28名)》

迎日中学校	イ・ジャンウォン
杞溪中学校	イ・ドンギュ
上島中学校	シン・デフン
杞溪中学校	イ・ギョンドク
大東中学校	キム・ドギョン
栄信中学校	オ・テファ
新興中学校	イ・スミン
浦項中学校	ウィ・ヘギョン
良鶴中学校	グ・ドンヒョン
浦項中学校	キム・ドンゴン
環湖女子中学校	キム・ハヤン
柳江中学校	キム・ソンギョン
長興中学校	キム・ユジン
柳江中学校	ハン・スンミン
昌浦中学校	キム・イエリン
迎日中学校	リュ・イエジン
昌浦中学校	バク・イエジン
圃隠中学校	キム・ギョンラン
長機中学校	キム・ヘウン
同志女子中学校	ワン・ヨンア
長機中学校	ユン・ヨジン
浦項製鉄中学校	ハン・ユジン
同志女子中学校	キム・ダビン
浦項製鉄中学校	アン・スピン
環湖女子中学校	キム・ナヨン
新興中学校	ソン・ユリ

浦項市役所国際協力観光課職員 バク・ユズン
浦項市役所国際協力観光課職員 キム・ビョンヒ

《日 程》

2月23日(金) 浦項発、舞鶴着、白糸中学校との交流、
市内視察、ホームステイ
2月24日(土) ホストファミリーとの交流
2月25日(日) 京都へ移動、京都視察、大阪へ移動
2月26日(月) 関空発、浦項着

7月24日(火)～25日(水)

駐日ウズベキスタン共和国大使が初来訪

2月に着任したファジロフ駐日ウズベキスタン共和国大使が2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンである舞鶴市に初来訪し、関係施設等を視察しました。

《来訪者(8名)》

駐日ウズベキスタン共和国特命全権大使
ファジロフ・ガイラト
駐日ウズベキスタン共和国大使館 二等書記官
ハサノフ・アスカラリ
ほか6名

《日 程》

7月24日(火) 舞鶴着、市内視察
7月25日(水) 舞鶴市長表敬訪問、舞鶴引揚記念館視察、
舞鶴発



▲多々見市長を表敬訪問

7月27日(金)～29日(日)

京都舞鶴港訪問団を浦項市へ派遣

浦項市において開催される国際イベント「第15回浦項市国際花火祭り」にあわせ、京都舞鶴港関係者が訪問し、浦項市長の表敬訪問を行いました。また、同時開催の「北東アジア CEO 経済フォーラム」において、参加国代表者等に京都舞鶴港の取組みをPRするとともに、今後の連携強化に向けた協議を行いました。

あわせて、釜山港湾公社と釜山経済振興院を訪問し、今後の取組みについて協議を行いました。

《訪問者(4名)》

舞鶴市副市長 山口 寛士
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事 西山 裕樹
(一社)京都舞鶴港振興会理事 飯田 徹
クレアソウル事務所所長補佐(京都府派遣)
林田 牧子(現地同行)

《日 程》

7月27日(金) 関空発、釜山着、釜山港湾公社、釜山経済振興院へ訪問、浦項着
7月28日(土) 北東アジアCEO経済フォーラムにて京都舞鶴港PRプレゼンテーション
7月29日(日) 浦項市長表敬訪問、浦項発、関空着

7月31日(火)～8月1日(水)

浦項市訪問団が来訪

浦項市の李康徳市長を代表とする浦項市訪問団が来訪し、多々見市長への表敬訪問の他、京都舞鶴港関係者との意見交換を行いました。

《来訪者(15名)》

浦項市長 イ・カンドク
浦項市環東海未来戦略本部長 キム・ジョンシク
浦項市国際協力観光課長 ゴ・ウォハク
浦項市港湾物流課長 ソン・ジョンワン
浦項市国際協力チーム長 パク・サンジン
浦項市港湾政策チーム主務官 キム・ウォニル
浦項市通訳 パク・ユズン
浦項市港湾物流課 パク・ヘヨン
浦項市市長随行秘書 ヨ・ヒョンドン
浦項市カメラマン キム・ウス
浦項市ビデオカメラマン イム・チャンヒョク
毎日新聞記者 イ・サンウォン
嶺南日報記者 マ・チャンソン
TBC記者(東部支社長) イ・ジョンウン
TBCカメラマン ゴ・デスン

《日 程》

7月31日(火) 舞鶴着、舞鶴市長表敬訪問、舞鶴港視察
8月1日(水) クルーズ誘致に係る実務者協議、舞鶴発



▲浦項市長と記念品交換

8月19日(日)～24日(金) ウズベキスタン合宿団が来訪

2016年6月、本市が2020東京オリンピック・パラリンピックにかかるウズベキスタンのホストタウンとして登録され、2017年8月、11月には、同国のレスリング協会・柔道連盟・オリンピック委員会・スポーツ省との間で覚書を取り交わし、代表選手団事前合宿地として正式決定されました。今般、同国のオリンピック委員会及び、レスリング・柔道の国内トップレベルのチームが来訪し関係者との交流を図りました。

《来訪者(15名)》

オリンピック委員会(カシカダリア地方スポーツ振興部長)

オディロフ・シロジディン

ウズベキスタンレスリング協会役員

アルマルダノフ・バヒティヨル

ウズベキスタンレスリングチームコーチ

ムタロフ・ルスタムジャン

ウズベキスタンレスリング女子チーム監督

カザコフ・コムルジョン

レスリング選手 ヤクボフ・ノディルベク

レスリング選手 ムフトロフ・ドニヨル

レスリング選手 オクナザロフ・スウェトラナ

レスリング選手 アヒメドワ・ショヒダ

ウズベキスタン柔道チームコーチ

アジゾフ・ウルグベック

柔道選手 ウミルゾコフ・シャヒボズ

柔道選手 オチロフ・マクスド

柔道選手 エルキノフ・テヒロン

柔道選手 ボホディロク・ディルショジョン

柔道選手 オリンバエフ・オゾド

柔道選手 シャリフジョノフ・ボブル・ミルソ

《日程》

8月19日(日) 舞鶴着

8月20日(月) 市内視察、舞鶴市長表敬訪問

8月21日(火) 市内視察、合同練習

8月22日(水) 合同練習

8月23日(木) 舞鶴発



▲レスリング合同合宿



▲柔道合同合宿

9月28日(金)～12月2日(日) 王希奇展「一九四六」を開催

舞鶴引揚記念館開館30周年を記念し、中国・葫蘆島からの引き揚げを題材にした作品を制作している中国の画家王希奇氏の絵画展を開催しました。オープニングセレモニーには王希奇氏が本人が出席されました。



▲王希奇氏

9月30日(日) ICOM舞鶴ミーティング2018を開催

2019年9月1～7日に開催される国際博物館会議(ICOM)京都大会のプレ大会として、ICOM舞鶴ミーティング2018が開催されました。スアイ・アクソイICOM会長をはじめ海外から多くの博物館関係者が来鶴し「文化をつなぐミュージアムと文化遺産」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。



▲多々見市長とICOM舞鶴ミーティング2018関係者

10月3日(水)～8日(月) 「日本人抑留者記念館」ジャリル・スルタノフ館長が来訪

ウズベキスタン・タシケント市にある「日本人抑留者記念館」のジャリル・スルタノフ館長及びそのご家族が来訪されました。舞鶴引揚記念館での平和祈念式典への参加や市内学校との交流のほか、スルタノフ氏が制作を進めているドキュメンタリー映像「ひいらぎ」の第2作目のための撮影を行われました。

《来訪者（5名）》

日本人抑留者資料館長	ジャリル・スルタノフ
館長令夫人	ナシバ・スルタノヴァ
館長の孫娘・館長の後継者	リソラット・スルタノヴァ
館長の孫息子・映像撮影担当	シェリゾド・スルタノフ
館長の孫娘・映像撮影担当	モヒナボヌ・スルタノヴァ

《日 程》

10月3日(水) 舞鶴着
 10月4日(木) 舞鶴市長表敬訪問、市内視察、市内撮影、日星高校交流夕食会
 10月5日(金) 日星高校訪問、大浦小学校訪問
 10月6日(土) 市内視察、市内撮影
 10月7日(日) 平和記念式典出席(引揚記念公園)、ひいらぎ上映会
 10月8日(月) 市内視察、舞鶴発



▲日星高校を訪問



▲撮影風景

11月20日(火) 北東アジア地域自治体連合(NEAR) 事務局が来訪

北東アジア地域自治体連合事務局(事務局:韓国・浦項市)が慶尚北道・浦項市の要請を受け来訪。2019年2月に浦項市で開催する「北東アジアクルーズ観光フォーラム」について、京都舞鶴港関係者と実務協議を行いました。

《来訪者（3名）》

北東アジア地域自治体連合事務局部長	パク・ソンミン
日本研究委員	ソン・ミギョン(通訳)
浦項市港湾物流課係長	キム・ジョンフン

11月23日(金)～24日(土) ウズベキスタン展を開催

ウズベキスタン共和国についての市民の認知度を高め、オリンピック本番へ向けて歓迎ムードを盛り上げていくことを目的として、舞鶴赤れんがパーク2号棟において、ウズベキスタン展を開催しました。ウズベキスタン写真展や民芸品・衣装の展示を行ったほか、ウズベキスタン関係者によるトークショーを開催しました。

11月29日(木)～30日(金) 葫蘆島市人民政府代表団が来訪

引揚を題材にした絵画を制作している中国出身の画家王希奇氏の作品「一九四六」を舞鶴引揚記念館開館30周年特別企画として舞鶴引揚記念館で展示するのに合わせ、葫蘆島市長をはじめとする葫蘆島市人民政府代表団が来訪。舞鶴引揚記念館を視察し、絵画「一九四六」や展示物を鑑賞したほか、引揚体験者の話に耳を傾けました。また、市内視察や葫蘆島市観光プロモーションも行いました。

《来訪者（6名）》

葫蘆島市長	王 力 威
葫蘆島市外事弁公室主任	張 慶 增
葫蘆島市商務局長	劉 昕
葫蘆島市旅游発展委員会主任	劉 戈
葫蘆島市龍港区工会主席	楊 博
葫蘆島市外事弁公室科長	劉 茂 林

《日 程》

11月29日(木) 舞鶴着
 11月30日(金) 舞鶴市長表敬訪問、市内視察、舞鶴引揚記念館視察、舞鶴発



▲葫蘆島市長と王希奇氏

京都舞鶴港関係の貿易・経済交流

2月5日(月)

釜山経済振興院訪問団が来訪

釜山経済振興院に設立された北方経済協議会（釜山市（韓国）、吉林省、黒竜江省（中国）、沿海州、ウラジオストク（ロシア）で構成）の一行が来訪。一行は本協議会の概要説明を行うとともに参加を呼びかけました。

《来訪者（5名）》

釜山経済振興院院長	キム・ビョンチュ
釜山経済振興院局長	キム・ジェガブ
釜山経済振興院代理	ウィ・スジョン
駐日本釜山市大阪事務所所長	ハ・ヨンファン
駐日本釜山市大阪事務所部長	チョ・ソンシク(通訳)



▲ザルビノ港管理会社との調整会議

3月、4月、8月、10月

ザルビノ港～琿春間の貨物輸送ルート調査を実施(計4回)

DBSクルーズフェリーと連携した「ザルビノ港～琿春～長春」トライアル輸送実験の事前調査及びその検証を目的として京都舞鶴港関係者が現地を訪問しました。ザルビノ港をはじめ琿春市や物流関係者と協議を行ったほか、中露国境における通関手続きや輸送環境の検証を行いました。

《訪問日・訪問者》

第1回 3月21日(水)～26日(月)

日本通運(株)舞鶴海運支店国際輸送課長	室田 和弘
(一社)京都舞鶴港振興会常務理事	新宮 敦雄
(一社)京都舞鶴港振興会主任	板橋 祐介

第2回 4月23日(月)～27日(金)

同上

第3回 8月5日(日)～10日(金)

日本通運(株)舞鶴海運支店国際輸送課長	室田 和弘
(一社)京都舞鶴港振興会常務理事	新宮 敦雄

第4回 10月13日(土)～20日(土)

同上



▲ザルビノ港で舞鶴港向けのコンテナ貨物を搬入

4月17日(火)～21日(土)

京都舞鶴港関係者が韓国を訪問／韓国から乗船したクルーズ客船で京都舞鶴港をPR

京都舞鶴港における韓国とのコンテナ航路のさらなる振興に向け、京都舞鶴港関係者が韓国を訪問。

あわせて、韓国の国際クルーズ振興を目的に、コスタクルーズ客船の中で韓国文化観光研究院及び韓国海洋水産研究院が主催する「クルーズ観光客の誘致及び拡大のためのワークショップ」に参加し、韓国の旅行業者等に対し寄港地としての京都舞鶴港をPRしました。

《訪問者（3名）》

京都府経済交流課副主査	川上 聡一
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	澤田 信幸
(一社)京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹

《日 程》

- 4月17日(火) 関空発、ソウル着、船社訪問
4月18日(水) 船社訪問、釜山市へ移動、コスタクルーズ客船乗船
4月19日(木) 船内ワークショップ
4月20日(金) 船内ワークショップ
4月21日(土) 東京港着

4月23日(月)

北方物流研究支援センター訪問団 (韓国・東海市)が来訪

日韓露国際フェリーの韓国の寄港地である東海市の北方物流研究支援センターの一行が来訪。同フェリー航路の振興に向けて京都舞鶴港の関係者と協議を行いました。

《来訪者(5名)》

- 北方物流研究支援センターセンター長
チェ・ギジュン
北方物流研究支援センター行政支援チーム長
チョン・チュンミ
北方物流研究支援センター物流研究チーム長
チョン・ドンフン
北方物流研究支援センター物流研究チーム研究院
ミン・セホン
カトリック関東大学校 カン・ダルオン教授
(前 センター物流部長)

5月29日(火)

「釜山港セミナー in KYOTO」を共催

韓国・釜山港との連携強化により、京都舞鶴港の韓国コンテナ航路の拡充を目指すため、釜山港を管理運営する釜山港湾公社が主催する「釜山港セミナー in KYOTO」を京都市内で初めて開催。セミナーに参加した京都・大阪の荷主企業・物流企业、韓国船社等250名に対し、京都舞鶴港における韓国とのコンテナ航路の内容や京都舞鶴港の整備状況を説明するなどのPRを行いました。

9月12日(水)～15日(土)

韓国東海市「GTI国際貿易・投資博覧会」に参加

京都舞鶴港と韓国・東海港、ロシア・ウラジオストク港との間で、国際フェリーによる貨物輸送を実施しているDBSクルーズフェリー社が、京都舞鶴港と韓国を結ぶ直行航路の開設に向けた旅客輸送のトライアル運航を実施し、韓国から約220名の乗客が訪れました。

この旅客トライアル運航にあわせ、京都舞鶴港関係者が韓国・東海市で実施される「GTI国際貿易投資博覧会」に参加し、京都舞鶴港のPRを行うとともに、北方

物流研究支援センターとの協議を行い、日韓露国際フェリーの集貨拡大を図りました。また、京都舞鶴港に寄港している韓国コンテナ船社を訪問し、韓国コンテナ航路の振興を図りました。

《訪問者(2名)》

- 京都府経済交流課副主査 川上 聡一
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事 西山 裕樹

《日 程》

- 9月12日(水) 舞鶴発(DBSクルーズフェリー乗船)
9月13日(木) 東海市着、博覧会参加、北方物流研究支援センターとの協議
9月14日(金) 利川市へ移動、企業訪問、ソウル特別市へ移動、船社訪問
9月15日(土) ソウル発、関空着

11月6日(火)～10日(土)

第1回中国国際輸入博覧会へ参加

中国が貿易自由化・経済グローバル化を推進し、世界へ向けて積極的に市場を開放する一大イベントとして、習近平国家主席が提唱した「第1回中国国際輸入博覧会(上海)」の視察等を目的とした京都国貿促訪中団に参加し、出展企業等に対して京都舞鶴港のPRを行いました。

あわせて、コンテナ貨物取扱量が上海港に次いで中国第3位、世界でも第4位を誇る寧波港を訪問し、港湾を視察したほか、港湾関係者と協議を行いました。

《訪問者(3名)》

- (一社)京都舞鶴港振興会常務理事 新宮 敦雄
(京都国貿促訪中団副団長)
京都府経済交流課主事 永江 兆徳
舞鶴市みなと振興・国際交流課長 小島 宏
※他の京都国貿促訪中団は以下の通り
法円坂法律事務所 弁護士 稲田堅太郎(団長)
日本国際貿易促進協会京都総局 専務理事
中重 節子(秘書長)
京都精管株式会社 代表取締役会長
柴崎 勇
浜松ホトニクス株式会社 営業本部中国担当
陸 偉 敏

《日 程》

- 11月6日(火) 関空発、上海着
11月7日(水) 博覧会参加
11月8日(木) 博覧会参加
11月9日(金) 寧波へ移動、寧波港視察等
11月10日(土) 関空着



▲ジャパンパビリオン

11月29日(木)～12月1日(土) 京都舞鶴港関係者が韓国を訪問

京都舞鶴港と韓国との国際コンテナ航路の集荷及びクルーズ客船誘致のため、舞鶴港関係者が韓国を訪問。ソウル市で韓国の船会社を訪問したほか、浦項市を訪問し、浦項市長をはじめとする浦項市関係者と協議を行いました。

《訪問者（6名）》

舞鶴市副市長	堤 茂
京都府港湾局長	三島 理
京都府経済交流課副主査	川上 聡一
舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小島 宏
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	西山 裕樹
(一社)京都舞鶴港振興会理事	飯田 徹

《日 程》

11月29日(木) 舞鶴発、ソウル着、船会社訪問
 11月30日(金) ソウル発、浦項着、港湾視察、実務関係者と協議
 12月1日(土) 市内視察、浦項発、舞鶴着

12月17日(月)～25日(火) 京都舞鶴港関係者がロシア・モスクワにて シベリア鉄道貨物輸送ルートを調査

本年度に国土交通省の「シベリア鉄道による貨物輸送パイロット事業」を活用し、日本通運(株)が京都舞鶴港からDBSクルーズフェリーとシベリア鉄道を利用したモスクワ向け貨物のトライアル輸送が実施されたのにあわせて、京都舞鶴港関係者がモスクワの鉄道駅や倉庫における貨物の状況を視察するとともに鉄道駅の調査や関係企業との協議を行いました。

《訪問者（2名）》

日本通運(株)舞鶴海運支店国際輸送課長	室田 和弘
(一社)京都舞鶴港振興会常務理事	新宮 敦雄

《日 程》

12月17日(月) 関空発、モスクワ着
 12月18日(火) 鉄道駅調査
 12月19日(水) 鉄道駅調査
 12月20日(木) 貨物搬入状況調査、企業訪問
 12月21日(金) 企業訪問
 12月22日(土) 鉄道駅調査
 12月23日(日) 市内視察
 12月24日(月) 鉄道駅調査、モスクワ発
 12月25日(火) 関空着



▲モスクワ市内鉄道駅での概要説明



▲ホヴリノ駅に停車中の貨物列車

京都舞鶴港へのクルーズ客船誘致事業

3月4日(日)～3月11日(日) シートレード・グローバル2018に参加

世界のクルーズ業界関係者が一堂に会する「シートレード・グローバル2018」が米国・フォートローダーデールで開催され、観光庁主催の日本ブース出展者として参加。京都舞鶴港を広くPRするとともに、クルーズ客船の積極的な誘致活動を展開しました。

《訪問者(2名)》

京都府経済交流課主任 水梨 和久
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長 小島 宏

《日程》

3月4日(日) フォートローダーデール着
3月5日(月) 会場準備
3月6日(火) コンベンション・PR活動
3月7日(水) コンベンション・PR活動
3月8日(木) コンベンション・PR活動、フォートローダーデール発ロサンゼルス着
3月9日(金) クルーズ船社訪問
3月10日(土) ロサンゼルス発
3月11日(土) 舞鶴着



▲各国ブースの様子

5月16日(水)～19日(土) 太平洋国際観光博覧会クルーズセミナー 及び国際ビジネス交流会に参加

ロシア沿海州観光局が主催する太平洋国際観光博覧会における、クルーズセミナー及び国際ビジネス交流会に参加するため、京都舞鶴港関係者がロシア・ウラジオストクを訪問。ロシア、中国、韓国と日本の各港をつなぐクルーズの定着・拡大のため、クルーズ関係者とのネットワークの構築を図りました。

《訪問者(4名)》

京都府経済交流課主査 渋谷五早代
舞鶴市みなと振興・国際交流課長 小島 宏
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長 竹山 真
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事 澤田 信幸

《日程》

5月16日(水) 関空発、ウラジオストク着
5月17日(木) 太平洋国際観光博覧会(セミナー、商談会)
5月18日(金) 太平洋国際観光博覧会(本会議)
5月19日(土) ウラジオストク発、関空着



▲国際ビジネス交流会の様子

8月28日(火)～31日(金) 済州国際クルーズフォーラムに参加

韓国・済州特別自治道で開催された「済州国際クルーズフォーラム」に参加し、京都舞鶴港のPRプレゼンテーションや個別ビジネスミーティングを通じて、韓国のクルーズ関係者や船社等に対し、韓国発着クルーズの誘致を行うとともに、関係者とのネットワーク構築を図りました。

《訪問者(3名)》

京都府港湾局長 三島 理
京都府経済交流課副主査 川上 聡一
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長 竹山 真

《日程》

8月28日(火) 関空発、済州着、クルーズ関係者等と面会
8月29日(水) フォーラム参加、京都舞鶴港PRプレゼンテーション
8月30日(木) クルーズ関係者による会合出席、ターミナル視察等
8月31日(金) 済州発、関空着

9月11日(火)～15日(土) オーストラリアクルーズ協会年次総会に 参加

オーストラリア・ブルームで開催される「第22回オーストラリアクルーズ協会カンファレンス及び総会」に参加し、クルーズ船社に京都舞鶴港のPRをはかるとともに、アジア太平洋地域の配船の意志決定に係るキーパーソンとコネクションを構築しました。

あわせて、世界で最もクルーズの乗船率が高い豪州の取組を聴取し、京都舞鶴港が乗船港としての機能を強化するための情報収集を行いました。

《訪問者(2名)》

京都府経済交流課副主査 水梨 和久
舞鶴市みなと振興・国際交流課長 小島 宏

《日程》

9月11日(火) 関空発
9月12日(水) ブルーム着、総会レセプション参加
9月13日(木) カンファレンス参加
9月14日(金) カンファレンス参加、ブルーム発
9月15日(土) 関空着

10月23日(火)～26日(金) 2018 シートレード・クルーズ・アジア 太平洋に参加

アジア最大のクルーズ・コンベンションであり、上海で開催された「2018 シートレード・クルーズ・アジア太平洋」のカンファレンスに参加し、クルーズ船社業界関係者に京都舞鶴港を広くPRするとともに、積極的な誘致活動を展開しました。

《訪問者(2名)》

京都府経済交流課副主査 水梨 和久
舞鶴市みなと振興・クルーズ客船誘致担当課長 竹山 真



▲カンファレンスの様子

《日程》

10月23日(火) 上海着、レセプション参加
10月24日(水) カンファレンス参加
10月25日(木) カンファレンス参加
10月26日(金) 上海発

11月26日(月)～28日(水) 2018 冬季 大連海外旅行(日本)商談会に 参加

京都舞鶴港関係者が大連海外旅行(日本)商談会に参加し、クルーズ商品を取り扱う旅行社に京都舞鶴港及び舞鶴市をはじめ京都府北部エリアの観光PRを図りました。また、本年5月、舞鶴市と友好都市である大連市の大連港から「チャイニーズタイシャン(中華泰山)」によるクルーズ船の舞鶴寄港が実現したことを契機とし、大連を含む中国をはじめ、アジア太平洋地域の配船の意志決定に係るキーパーソンとコネクションを構築及び深化させました。

《訪問者(2名)》

舞鶴市みなと振興・国際交流課課長 小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課主査 坪内 善紀

《日程》

11月26日(月) 関空発、大連着、レセプション参加
11月27日(火) 商談会参加
11月28日(水) 大連発、関空着

12月12日(水)～14日(金) 北東アジア国際クルーズセミナーへ参加

京都舞鶴港関係者が釜山市で開催された「北東アジア国際クルーズセミナー」に参加。京都舞鶴港のPRプレゼンテーションや個別ビジネスミーティングを通じて、韓国のクルーズ関係者や船社等に対し韓国発着クルーズの誘致を行いました。また、韓国コンテナ定期航路の集貨拡大に向け船社及び関係荷主を訪問しました。

《訪問者(3名)》

京都府経済交流課副主査 川上 聡一
舞鶴市みなと振興・国際交流課長 小島 宏
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事 西山 裕樹

《日程》

12月12日(水) 関空発、釜山着、クルーズ関係者と協議
12月13日(木) セミナー参加、京都舞鶴港PRプレゼンテーション
12月14日(金) 旅行会社と協議、釜山発、関空着

インバウンド誘客事業

2月5日(月)～10日(土) 「タイ国際旅行フェア(TITF)」に海の 京都ブースを出展

タイ・バンコク市のクイーンシリキット・ナショナル
コンベンションセンターで開催された「第22回タイ国際
旅行フェア(TITF)」に舞鶴市観光関係者と海の京都
DMOが海の京都ブースを出展。舞鶴観光のPRを行いま
した。

《訪問者(1名)》

まいづる広域観光公社

劔菱 英明

《日程》

2月5日(月) タイ・バンコク着

2月6日(火) 旅行社訪問

2月7日(水)～9日(金) ブース対応

2月10日(土) バンコク発



▲海の京都ブース



▲海の京都ブース

6月10日(日)～11日(月) 「ハナツアー旅行博覧会」に 海の京都ブースを出展

韓国・ソウル市郊外で開催された「2018 ハナツアー旅
行博覧会」に舞鶴市観光関係者と海の京都DMOが海の
京都ブースを出展。舞鶴観光のPRを行いました。また、
旅行社を訪問し、マーケティング方法等についての意見
交換を行いました。

《訪問者(2名)》

舞鶴市観光商業課

藤原 清人

まいづる広域観光公社

劔菱 英明

《日程》

6月10日(日) 韓国・ソウル着、ブース対応

6月11日(月) 旅行社訪問、ソウル発

6月19日(火)～25日(月) 「日本の観光・物産博覧会」に出展

舞鶴市観光関係者と若狭湾観光連盟が連携し、台北市
台北駅で開催された「日本の観光・物産博覧会2018」に
共同でブース出展し、舞鶴観光のPRを行いました。あ
わせて、旅行社、メディア社、出版社を営業訪問し、舞
鶴の旅行商品の提案や具体的なツアーコースの提案を行
うなど訪日客誘致活動に取り組みました。

《訪問者(3名)》

舞鶴市観光商業課

渋谷 元気

まいづる広域観光公社

劔菱 英明

まいづる広域観光公社

陳 嶸

《日程》

6月19日(火) 台湾・台北着

6月20日(水)～22日(金) 旅行社訪問

6月23日(土)～24日(日) ブース対応

6月25日(月) 台湾・台北発

7月20日(金)～25日(水) 「香港ブックフェア」でガイドブック 『海の京都、若狭路』、『JR西日本鉄道 遊』の販売支援

舞鶴市観光関係者が香港コンベンション&エキシビ
ション・センターで開催された香港最大の書籍見本市「香
港ブックフェア2018」におけるWow mediaブースに参
加し、ガイドブック『海の京都、若狭路』、『JR西日本
鉄道遊』の販売支援を行いました。あわせて、旅行社及
びメディア社を営業訪問し、舞鶴の旅行商品の提案や具

体的なツアーコースの提案を行ったほか、政府機関を訪問し、情報収集を行いました。また、ABCクッキングで舞鶴岩がきや肉じゃがの試食・PRを行いました。

《訪問者（3名）》

舞鶴市観光商業課長
まいづる広域観光公社
若狭湾観光連盟

小畑真奈美
鋸菱 英明
岸本 昇

《日程》

7月20日(金) 香港着
7月21日(土)～22日(日) ブース対応
7月23日(月) 政府機関訪問
7月24日(火) 旅行社、メディア社訪問
7月25日(水) 香港発



▲WOW ブースでガイドブックを販売



▲ABCクッキングで舞鶴の食をPR

8月22日(水)～28日(火)
第4回 Touch The Japan in 台湾で
海の京都ブースを出展

第4回 Touch The Japan in 台湾において、海の京都地域の観光資源をPRするため、海の京都地域関係が海の京都ブースを出展しました。民間事業者とともに、海の京都の魅力を発信しました。

《訪問者（15名）》

まいづる広域観光公社
海の京都 DMO 次長
海の京都 DMO
天橋立観光協会局長
京丹後観光協会
福知山観光協会
伊根観光協会

陳 嶸
櫻井 晃人
横山 成之
中島 明
荻野有起子
植田 千穂
大里 晃司
ほか、民間事業者8名

《日程》

8月22日(水) 台北着
8月23日(木) 商談会
8月24日(金) セールスコール
8月25日(土) ブース対応
8月26日(日) ブース対応
8月27日(月) セールスコール
8月28日(火) セールスコール、台北発

9月3日(月)～8日(土)
台湾大商談会に参加

高雄、台中、台北での商談会に参加。各都市の旅行社にも訪問し、舞鶴観光のPRを行いました。高雄でのPR活動は今回が初。

《訪問者（1名）》

まいづる広域観光公社

陳 嶸

《日程》

9月3日(月) 高雄着
9月4日(火) 旅行社訪問
9月5日(水) 旅行社訪問、台中へ
9月6日(木) 旅行社訪問、商談会、台北へ
9月7日(金) 旅行社訪問、商談会
9月8日(土) 台北発

市民主体の国際交流

3月10日(土)～11日(日) 舞鶴文化教育財団が「国際交流児童画展」を開催

ショッピングセンターらぼーるにおいて、舞鶴文化教育財団が「第10回国際交流児童画展」を開催しました。海外の子ども達(中国大連市、韓国、ネパール、インド、ドイツ、フィリピン)の絵53点、三鶴幼稚園(年少～年長)の絵37点、海外(インド、フィリピン、韓国、ドイツ、アメリカ、スイス)及び日本のおもちゃ20点が展示され、約2,000人の来場がありました。



▲作品展示の様子

5月26日(土) 「地球のステージ8」が開催

舞鶴商工観光センターで、海老名こころのクリニック院長・桑山紀彦さんのライブ「地球のステージ」が開催されました。約30年間にわたって世界各地で医療救援活動をしている桑山さんが、協力活動の中で撮りためた映像と出会った人々の「輝き」をオリジナルの音楽と語りで伝えました。第2部では、宮城県名取市閑上中学校遺族会の大川ゆかりさんが講演し、東日本大震災の被災地の様子を伝えました。

6月17日(日) 2018年度インターナショナル与保呂 フェスティバルを開催

与保呂小学校では世界に目を向けたくましく生きる児童の育成を目指し、毎年、「インターナショナル与保呂フェスティバル」を開催しています。本年は、朴蓮姫・国際交流員や京都産業大学の留学生の参加を得て開催され、全校児童との交流を行いました。参加者は出身国の紹介や外国語を使ったゲームを通じて交流と相互理解を深めました。



▲児童と一緒に給食を食べる

7月26日(木) 韓国・パイントゥリーホーム院生が 舞鶴学園を訪問

児童養護施設「舞鶴学園」では、日韓両国の児童養護施設で生活している子どもたちが交流をすることによって国際理解を深め、豊かな心を育むため、韓国・仁川市の児童養護施設「パイントゥリーホーム」と、毎年夏と冬にお互いの国を訪問する日韓交流事業を行っています。本年は同ホームから院生3名と職員1名が来訪。一行は滞在中、浮島丸殉難の碑に献花を行ったほか、茶道体験や意見交流会などして交流を深めました。



▲表敬訪問の様子

8月4日(土) M I A にほんご教室を開校

市内に居住する30カ国・1,000人を超える外国人住民のうち、日本語学習支援を必要とする外国人住民のために日本語教室が開校。フレアス舞鶴で毎週土曜日に開催し、日本語支援ボランティアによる日本語学習支援をスタートしました。この教室では、日本語学習だけでなく、日本の文化や習慣を教え、外国人住民の生活を支援しています。



◀ にほんご教室の様子



8月から日本語支援ボランティアスキルアップ講座を月1回開催

文化庁委嘱のコーディネーターを講師に招き、日本語支援ボランティアスキルアップ講座を開催。日本語教室で活躍されている日本語支援ボランティアのスキルアップを図りました。講座は、8月から2月まで計7回開催しました。



▲スキルアップ講座の様子

9月29日(土)～11月24日(土)日本語支援ボランティア養成講座を開催

日本語教室の継続的な運営のため、新規日本語支援ボランティアを養成する講座を開催しました。文化庁委嘱の地域日本語アドバイザーを講師に招き、計5回の講座を開催。計30名が受講されました。



▲養成講座の様子

11月2日(金)倉梯小学校が「ワールド教室」を開催

倉梯小学校では、海外出身者を招へいし、一緒に学習することで異文化理解を図り、自国の文化を尊重する態度を育成することを目的として、「ワールド教室」を開催しています。朴蓮姫国際交流員やレアルトゥル国際交流員、京都市内の外国人留学生が、クラスで授業に参加し、出身国の話や児童とゲームをすることで、交流と相互理解を深めました。



▲児童と独楽を体験

12月7日(金)～9日(日)舞鶴ユネスコ協会が「世界児童絵画展」を開催

舞鶴ユネスコ協会が、赤れんがパーク5号棟において、「世界児童絵画展」を開催しました。市内の幼稚園、小・中学校のほか、姉妹・友好都市であるロシア・ナホトカ市、中国・大連市の子どもの絵画が48点展示され、3日間で、583人の来場がありました。

12月8日(土)M I Aが30年度「外国料理教室」としてウズベキスタン料理教室を開催

舞鶴国際交流協会(M I A)では、異文化理解を深めるため、毎年外国料理教室を開催しています。2018年はレアルトゥル国際交流員を講師に招き、ウズベキスタン料理教室を開催し、「ラグマン」を作りました。



▲ラグマン作りの様子



舞鶴市国際交流員としての1年間

2017年度舞鶴市国際交流員 李 芳

大連市と舞鶴市は1982年に友好都市を締結し、35年の間に、経済、貿易、青少年交流、文化交流など様々な分野で幅広く、実りがある交流をしてきました。2017年は両市が友好都市締結35周年、また中日友好国交正常化45周年という節目の年に、両市・両国の友好の架け橋を使命とした国際交流員の13代目（12人目）として赴任でき、大変光栄でうれしく思います。

4月12日に赴任した際は、ずっと学生を相手にしてきた私にとって、市役所の仕事を本当にこなせるのかと不安を覚えながら、仕事をはじめましたが、暖かい職場の皆さんに恵まれて、何でも丁寧にご指導をしていただき、また市民の皆さんにも優しくしていただきましたので、楽しく仕事をすることができました。

国際交流員の業務は多岐にわたりますが、主に大連市との友好都市交流活動、市民との交流活動、みなと振興活動を行ってまいりました。

1. 大連市との友好都市交流活動

冒頭に書いたように、今年は友好都市締結35周年を迎えたことから、大連市との訪問団派遣・受入事業、大連現代博物館所蔵刺繍展など数多くの交流事業が実施されました。その都度、事前の調整から、行政文書、契約書などの翻訳、訪問団のアテンド、通訳、イベントの企画など多岐にわたる業務をしてきました。

(1) 大連市からの訪問団受入事業（7回）

今年は35周年という節目の年を盛大に祝うために、多くの訪問団の来訪がありました。訪問団の皆さまに舞鶴について知ってもらえるよう、視察のアテンドや通訳業務、事前調整などしました。

(2) 大連市への訪問団派遣（4回）

舞鶴市・京都舞鶴港をPRするため、市長を始めとする訪問団が2017年5月に大連市主催の「中日観光大連ハイレベルフォーラム」に参加しました。その際、多々見市長が「大連市名誉市民」の称号を授与されました。2017年9月には、京都舞鶴港振興会が「2017大連日本商品展覧会」に参加し、京都舞鶴港や関連企業のPRをしました。2018年3月にも京都舞鶴港振興会が京都府主催の「京都ビジネスセミナーin大連」に参加しました。2017年8月は、舞鶴市少年使節団が大連市を訪問しました。私は事前調整、公文書やポスターなどの翻訳、通訳などをしました。



▲大連市訪問時に市長通訳を務める

2. 市民との交流活動

舞鶴市民の皆さまに中国・大連のことをたくさん知ってもらうため、中国語講座、中国情報の発信、各学校や団体への出前講座を行いました。

(1) 中国語講座

中国語の勉強を通して、中国文化、中国に関心を高めればと思い、中国語講座を聖母の小さな学校と舞鶴国際交流協会で66回実施しました。また、舞鶴市少年使節団を派遣する際に、24人を対象に、6月28日から7月24日まで6回実施しました。

(2) 出前講座

市民団体・学校の依頼に応じて、小学校の国際理解教室、高校・YMCAの中国語講座、市民団体向けの料理教室を全部で20回、1,227人と交流してきました。出前講座を通して、中国に対する関心を高め、理解を深めました。

平成29年 李芳出前講座リスト

番号	出先	内容	日にち
1	ロータリークラブ	国際理解	4月25日
2	YMCA	国際理解、中国文化	5月30日
3	与保呂小学校	国際理解、中国文化	6月11日
4	舞鶴市女性の会	国際理解、中国文化	6月26日
5	城南会館	餃子料理	7月11日
6	YMCA	餃子料理、国際理解	7月25日
7	東舞鶴地域夏休み第1クラブ	中国文化、中国語	8月21日
8	東舞鶴地域夏休み第2クラブ	中国文化、中国語	8月22日
9	西舞鶴地域夏休み児童クラブ	中国文化、中国語	8月23日
10	カントリーママ	中国文化、中国語	9月1日
11	あすなろ会	餃子作りと食文化の交流	9月25日
12	カントリーママ	餃子作りと食文化の交流	10月6日
13	倉梯小学校	国際理解教育	11月2日
14	東舞鶴高校	中国語・中国文化教室	11月16日
15	余内小学校	国際理解教室	11月21日
16	聖母の小さな学校	餃子作りと食文化の交流	12月2日
17	女性の会	餃子作りと食文化の交流	12月4日
18	大浦会館	親子料理教室	12月17日
19	南舞鶴女性の会	餃子作りと食文化の交流	30年1月23日
20	モナミゼミ	国際交流員の一年間	30年3月19日

(3) 中国情報発信

中国と日本は一衣帯水の隣国ですが、意外にお互いわからないところが多々あると思います。そこで、相互理解を深めるため、中日文化の違いについて、広報まいづるに2ヶ月に1回全部で7回投稿しました。

(4) 日本語支援ボランティア

外国人が支障なく舞鶴で生活できるように、みなと振興・国際交流課と舞鶴国際交流協会が日本語支援教室を試験的に立ち上げました。その際、私は日本語教師として助言や毎週土曜日の午後日本語支援ボランティアを行いました。



▲インターナショナル与保呂フェスティバル

3. 一年間を振り返って

みなと振興・国際交流課では、舞鶴市と大連市を始めとする中国との経済交流への助言・協力、中国情報の収集・紹介、通訳・各種翻訳などの業務を担当しました。

この一年間、日本語教師としてなかなか体験できない人生初の経験が多く、様々な素晴らしい出会いに恵まれました。色々な知識を吸収し、収穫がたくさんありました。

振り返ってみると、刺繍展のために準備していた日々、MIAで中国語講座をした火曜日の夜、各団体と一緒に餃子を包んでいた光景、夏休み児童クラブでの好奇心旺盛の子供達、日本語教室の学習者たちやボランティアの頑張る姿、はじめての市長通訳時のドキドキ、上司から励ましていただいた幸福感、今回の投稿の落ちがよかったと言われた時の達成感…と次から次へと頭に浮かんできました。舞鶴での一年間は、本当に感動いっぱい有意義かつ充実したものでした。

国際交流員の生活は、私にとってかけがえのない宝物になりました。舞鶴で見た、感じた学んだ貴重な物を、中国での日本語教師の仕事に生かしたいと思います。それから、京都の海の玄関である舞鶴港、魅了される紅葉した金剛院、イベントが多い赤れんがパーク、暖かい市民の皆様など、舞鶴の良さをPRし、これからも両市の友好交流に、微力ながら、引き続き力を尽くしていきたいと思えます。

短い別れは素敵な再会のためです。皆様、一年間ありがとうございました！これからもよろしくお願いたします！またお会いしましょう！時間を見つけて、ぜひ大連にいらしてくださいね！いつでもお待ちしております。



▲民謡流しに息子さんと参加



▲中国語講座

外務省体験記

～激動の4年を過ごして～

みなと振興・国際交流課

坪内善紀



大連市内にある大黒山頂上からの眺望

2014年4月から18年5月までの4年間、外務省と地方自治体との人材交流事業の一環として同省に派遣。外務本省で2年間、その後、中国・大連市にある在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所（以下、大連領事事務所という）で2年間勤務させていただいた。この貴重な経験の一部をご紹介します。

1. 中国・モンゴル第二課という職場

(1) 圧倒された1か月

2014年4月1日、外務省という未知なる世界へ足を踏み入れた。省内の敷地には満開の桜が咲き並び、やる気と新たな環境への期待に満ち溢れていた私を歓迎しているように感じた。外務事務次官名の「アジア大洋州局中国・モンゴル第二課を命ずる」との辞令を受け取り、向かう先は配属先の執務室。「よし、今日からやるぞ」と心の中で叫んで執務室の扉を叩いた。

配属された中国・モンゴル第二課は、地域課と呼ばれる部署で、中国、香港、マカオ、台湾及びモンゴルとの関係のうち、経済に関する外交政策を所管。各国・地域との関係が多様化し、日々刻々と状況が変化する中で、経済の動向を的確に把握し、経済活動の主体である民間企業等の活動をサポートするなどして、我が国との経済関係を発展させていくことが主たる業務である。なお、これらの国・地域との関係のうち、政治面を主とし、総合的な外交政策を所管する部署が中国・モンゴル第一課である。いざ、執務室に足を踏み入ると「早くしろ」「後5分で仕上げろ」という声や、休むことなくかかってくる電話に対応する声、パソコンのキーボードを叩く音が入り乱れ、殺伐とした雰囲気飲み込まれてしまった。当時、4月下旬に控えていた日・モンゴルEPAの東京での交渉のため、課全体でサブ・ロジ^(※1)の準備のほか、省内の幹部や官邸への説明及びそれに伴う資料作成のため、昼夜を問わず業務を遂行していた。私は挨拶を早々に済ませ自席へ向かい、個人専用の電話とメールアドレスを与えられた。総務班長^(※2)から「研修生^(※3)が配属される5月頭までは、総務班で働いてもらう。分からないことがあれば何でも聞いてくれて構わない」と一言。早速舞

い込んできた最初の仕事は英語で書かれた協定文書の添削作業だった。さすが外務省、来たかと思っていたさなか、悩んでいる間もなく、次々に自分のメールアドレスに依頼が送られ、その業務量に圧倒された。国会で大臣が発言する内容を作成するため、一刻を争う瞬間や多忙な他の職員の手を止めて、仕事の相談をしなければならない場面も多々あり緊張の連続で、とんでもないところに来てしまったと感じた初日だった。一方で、全く何も分からない新規採用職員の時のような新鮮な感覚があり、なぜかモチベーションだけは高く、あっという間に1か月が過ぎた。

後に知ったが、同課は外務本省でも一二を争う激務を伴う部署。それだけ我が国にとって重要な国・地域（特に中国）であるということだ。

(2) プレッシャーとやりがいは表裏一体

5月に入り経済班^(※4)に身を移した。主に日中・日台の漁業、日中の科学技術の分野を担当するとともに、総合的な日台関係の業務にも携わることになった。経済班では、班員一人ひとりが担当分野を持ち、その分野では第一人者となる。市役所では課や係が組織的に仕事を進めるため、この経験は全くなかったことである。専門的知識が必要なことは言うまでもないが、対外に発言・応答する際には、日本政府の代表であるという立場に立って遂行する必要がある、当然、責任も重くプレッシャーに押しつぶされそうな毎日。誰かに頼ることなく自ら動いて物事を成し遂げる。自ら動かなければ何も始まらないことを実感した。また、前日、時には当日のぎりぎりまで協議していた内容が翌日にはテレビのニュースや新聞で報道されるという事実、外交の最前線に身を置き仕事をする中で、決断力とスピードを兼ね備え、どんな内容でも妥協を許さず、昼夜を問わず抱える課題解決に向け、全力を注ぐ外務省員とともに過ごす日々は希有な経験となった。市役所とは全く異なる環境のため、右往左往する毎日だったが、彼らのマインドを肌で感じ、また、直接指導いただいたおかげで、充実した日々を送ることができた。まさに戦友として苦勞を共にした経験は、今では自分

の心の支えとなっており、彼らには感謝してもしきれない気持ちである。

(3) 派遣といえども一人前の立場

外務本省で仕事をさせていただいた中でも思い出深いことの一つが日台貿易経済会議。

さてここで、日本と台湾との関係について整理したい。台湾に関する我が国の立場は、1972年の日中共同声明にあるが、噛み砕いていうと、「台湾との関係を非政府間の実務関係として維持する」ということ。日台間には国交がないため、実務協力をいかに進めていくかがポイントとなる。そこで、実務を遂行する民間団体として、日本台湾交流協会（日本側）と台湾日本関係協会（台湾側）とが協力文書（法的拘束力を持たない）を交わし、日台の関係当局から必要な協力を得るという形をとり実務を遂行する。私は、両協会が主催する本会議と会議で署名される協力文書の作成に関わらせていただいた。上述のとおり、国交がない日台間では国際約束を結べないため、直接政府に義務を課す書きぶりは不可能であり文書作成には大変苦慮した。一方で、派遣の身ではあるものの、形として残る仕事に携わることは本当に有難いことで、ひとえに外交といっても、国や地域によって抱える問題や課題がそれぞれあり、リアリティのある国・地域の情勢の一端を知ることのできた経験は、今後、二度とないだろうと思う。

(4) 一攫千金を狙うサンゴ船に翻弄され

思い出深いといえば、もう一つが「サンゴ船問題」。外務本省で勤務した2年間では、ほぼ毎日何かしらの問題や事件が起こり、対相手国・地域をはじめ、国会や官邸等、対外的な対応に追われたが、担当する分野（漁業）として、これだけは忘れることはないだろう。

2014年11月初旬、小笠原諸島周辺海域等において、200隻を超える中国サンゴ船とみられる船舶が一気に現れ、海域一帯を埋め尽くした。現場では、海上保安庁と水産庁が連携して違法操業等の取り締まりを強化した結果、中国人船長の逮捕事案も数件発生。こうした事態を踏まえ、同月8日に行われる日中外相会談で外務大臣から中国の外交部長に対して事態の改善を申し入れるため、申入れ内容の作成に関わるようになった。

そもそも宝石サンゴの取引価格は一説によれば、1キロあたり200万円、品質次第では700万円になるといわれ、大量に現れた船舶は一攫千金を狙う密漁者なのだ。事態の解決に向け、取締り強化や外交ルートでの累次の申入れ、厳罰化（後に法改正も実施）等、様々な方策により、同月末には密漁船はゼロもしくは数隻が確認される状況となったが、連日、申入れや与党部会の対応で緊張した毎日が続いた。

話は変わるが、漁業の分野において、日本と中国との間には日中漁業協定を締結しており、毎年漁獲量の決定や操業ルールの見直し等が行われる。日中漁業共同委員会では、イメージどおりの外務省の仕事であり、内容は交渉となる。しかしながら、海外との交渉の難しさは想像を絶するもので、紛糾や決裂も多々あり、これまで経験した会議や協議とは別次元の特別な体験であった。

- ※1 サブ・ロジ：外務省で使用される言葉の一つで、各種会見での発言内容等の外交の実質的内容を意味する「サブ」と日程管理や各種手配等、後方支援を意味する「ロジ」。
- ※2 総務班長：課内すべての業務を総括するグループの長であり、実務の司令塔。
- ※3 研修生：入省1・2年目の職員の呼び名
- ※4 経済班：経済に関する各分野を束ねるグループで、各班員は、通常、数種類の担当分野を受け持つ。

2. 中国・大連での生活

(1) 日本人にとって住みやすいまち「大連」

2016年春、外務本省での2年にわたる勤務を終え、いよいよ中国・大連での生活がスタートすることになった。当時の日中関係はというと、年間の国籍別訪日外客数で、中国が韓国を抜き第一位となり、2015年は前年比107.3%増で、惜しくも500万人には届かないものの、499万人に達し最大の市場となる（JNTO発表）など、観光を通じた交流が盛んであった。中国は圧倒的な勢いがあり、私は何となく惹きつけられるものがあつたため、大連に向かう機中では期待感しかなかった。

4月28日、大連国際周水子空港へ到着。大連のまちを一步踏み出すと、そこには高層ビルやマンションが建ち並び、広い幹線道路が行き交う。メイン通りには有名ブランド店が並び、外資系のショッピングモール、ファストフード、カフェも多く大都会である。実際に住んでみると、気候が良く雨が少ない。冬場はマイナス十数度になることもあるが、雪はほとんど降らないし積もらない。コンパクトなまちで移動も便利。

また、大連は歴史的に日本との関わりが強く、日系企業は1,500社以上、日本人も4,800人以上住んでおり、市内の中心部で日本人を見かけないことはほとんどない。日本料理店も多く日本食には困らないが、大連料理の代表格が海鮮料理であるため舌に合い、日本人にとって中国でこれほど住みやすいまちはないだろう。そもそも東北料理や火鍋、四川料理等、様々な味を安く美味しく味わえる店が多く、私にとって日本食はあまり必要ではなかった。

(2) 在外公館職員として働く

大連での勤務先は正式名称「在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所」で、在外公館の一つだ。外務省が他国に設置する在外公館には主に首都に置く大使館、

主要都市に置く総領事館、国際機関（国連等）に置く政府代表、長期滞在する邦人や訪日者が多い地域に置く領事事務所があり、大連には遼寧省瀋陽市に置く在瀋陽日本国総領事館の出先機関として、大連領事事務所がある。領事事務所の職員は通常、本官（現地公館に派遣される外務省員）と現地職員（現地公館で採用される職員）を合わせ、多くても10名程度であるが、大連領事事務所は約30名と大規模な領事事務所である。主な業務は在留邦人の保護をはじめ、旅券発行、各種証明書の発行、査証（ビザ）の審査及び発給、政治・経済その他の情報収集、広報文化活動など多岐にわたるが、私は主に査証業務を担当させていただいた。

さて、査証とは外国（ここでは日本）への入国に際して必要とされる証印のことで、一般にはビザと呼ばれる。外国人の日本への入国と滞在を認めて差し支えないことを証明するものであるが、入国許可ではなく、入国するための要件の一つに過ぎない。実際に入国する際には到着した空港で入国審査があり、入国審査官が上陸許可を出さない限り入国はできないのである。査証の種類は、観光、短期商用、親族・知人訪問、留学、就労他、多岐にわたる。2017年の全在外公館による査証の発給件数は約590万件で、国籍・地域別では、中国が約450万件で、全体の約8割を占める。中国公館の種類別では、全体の約7割が観光査証であり、今日の中国人による訪日旅行者数の急増を物語っている。大連領事事務所でもほぼ同様の傾向にあり、私が赴任していた2016年～2018年では、観光査証が約6割、その他、短期商用、親族・知人訪問、留学、就労と続いた。査証の審査では、ほとんどの申請者に対して問題なく発給されるが、一部には不正な申請がある。日本への不法就労、偽装結婚や資格外活動を企てる者等様々であるが、不発給となれば、申請者はもとよりその雇用主や家族からの苦情電話が頻繁にあるほか、直接事務所に怒鳴り込んで来る場合もあった。短期滞在中であれば、多くの国・地域に査証なしで渡航できる日本人にとっては、査証の重要性について想像しにくいかもしれないが、査証官として自身が下した判断が申請者の人生の岐路となる場合も少なくはなく、個人の利害に直接関わるため、ミスは許されず、公平・公正な審査が必要だ。その一方で、近年の中国人による訪日旅行者数の急増のとおり、査証申請件数も急増しているため、迅速な判断も求められた。政府目標である「2020年の訪日外国人数4,000万人」に向け、中国人に対する観光査証の緩和政策が取られる中、現実として要件に満たない者の申請も見られ、制度のもと判断を下さなければならないことに何度もやりきれない思いを感じたものだ。

（3）豪快で情に厚い大連人との付き合い

中国で生活をする、日本の習慣との違いを肌で感じることができた。タクシーに乗車しようとする、行き先が近いからといって乗車を断られる。一方で、先に人が乗っていても、行き先が近ければ相乗りし、それぞれが行き先までの料金を支払う。これらは一例に過ぎないが、日本の常識は異国では非常識なのだ。そもそも文化や歴史、思想等が違うのだから、日本での社会的通念が通るわけもない。郷に入れば郷に従えで、日本の常識はすぐに捨て、中国のやり方に従うことにした。慣れてくれば心地良くなるもので、生活が楽しくなった。大連人との付き合いもそうで、酒の席は豪快だ。日本では乾杯は最初だが、中国では何度も乾杯し、そのたびにグラスに入った酒を飲み干すことになる。

大連で生活をはじめ、事あるごとに食事をしたり、旅行したりした中国人の友人に改めて感謝の言葉を述べた時のことである。日本では、親しき仲にも礼儀ありという言葉があり、私にとっては当たり前だったが、その友人からは「遠慮はいらない、友人だから当然だ。自分がしたいからするだけだ」と言われた。大連で付き合い合った中国人の皆さんは、熱心に情に厚く、相談に乗れば自分のことのようにいつでも力を貸してくれる方ばかり。出会えた縁に感謝し、舞鶴に戻ってから、未永く友情を深めていきたいと思う。

3. 終わりに

舞鶴を離れ、外務省で過ごした4年間は、今思うと現実だったのかというほど、これまで経験したことのない出来事に遭遇し、そこで学ぶことも多く大変勉強になった。外務本省での2年間は、激務という戦いの中、プロパー職員をはじめ、他省庁、民間等、様々な方々と関わりができ、視野を広めることができた。忙しい日々ではあったが、仕事のしやすい環境で、何とか全うすることができた。特に、外務省員の誇りや情熱、団結力等を目の当たりにし、優秀な方々と一緒に仕事をさせていただいたことは、今後の人生の大きな糧になるものと確信している。また、大連での2年間は、人生観を変える多くの経験をさせていただくとともに、様々な人脈を構築することができた。公的というより、むしろ私的な付き合いで親しくなった友人も多く、初めての海外生活の中で日々支えていただいた。4年間で出会った外務本省関係者、大連領事事務所の皆様、多くの友人に対し、この場をお借りし感謝申し上げる。この外務省派遣の経験は、私にとって財産であり、今後、舞鶴市職員としてこの経験を活かし、大連との有意義な交流と舞鶴市の発展のため、精一杯努力していきたい。

各種ホームページの紹介

姉妹都市・友好都市のホームページや海外安全情報などのホームページを紹介します。
いろいろな情報の検索に便利ですので、ぜひご利用ください。

<http://www.nakhodka-city.ru/>

ナホトカ市のホームページです。ナホトカ市の歴史・教育・産業・経済自由区や観光案内などを検索することができます。(ロシア語・一部英語版あり)

<http://www.dl.gov.cn/>

大連市のホームページです。大連市の概要・投資ガイド・観光案内などについて検索することができます。(英語・中国語・日本語版等)

<http://www.portsmouth.gov.uk/>

ポーツマス市のホームページです。観光案内・市役所の仕事などについて検索することができます。(英語版)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省のホームページです。在外公館のニュースや安全情報を検索できます。(日本語・英語版等)

<http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>

舞鶴市のホームページです。姉妹・友好都市との交流や市政全般の情報を検索することができます。(多言語自動翻訳システムを導入)

<http://www.npomia.com/>

NPO法人舞鶴国際交流協会のホームページです。在住外国籍市民との交流や支援などを中心に活動を展開しています。

<http://www.port.maizuru.kyoto.jp/>

一般社団法人京都舞鶴港振興会のホームページです。京都舞鶴港の概要や定期航路、クルーズ客船、港湾施設等についての情報が掲載されています。

国際交流 2018年

—平成30年国際交流報告書—

2019年(平成31年)3月 印刷

発行 舞鶴市産業振興部みなと振興・国際交流課
〒625-8555 京都府舞鶴市北吸1044
TEL 0773-66-1037

印刷 株式会社 モトキ